

- 問1 19世紀末から20世紀初頭にかけての日本において、日清戦争の賠償金を主な資金源として福岡県に建設され、1901年に操業を開始した、日本の重化学工業化を支えた官営の工場はどれですか。 (2022年 熊本県公立入試 類似)
1. 釜石製鉄所 2. 富岡製糸場 3. 八幡製鉄所 4. 横須賀造船所
-
- 問2 1885年に内閣制度が創設された時期の日本において、政府が推進していた経済や社会の動きとして最も適切な説明はどれですか。 (2025年 京都府公立入試 類似)
1. 日中戦争の長期化に対応するため、国家総動員法が制定されて経済の統制が強まった。 2. 犬養毅首相が海軍将校らに暗殺される五・一五事件が起こり、政党政治が中断した。 3. 渋沢栄一らが経済界をリードし、官営模範工場の設立などの殖産興業政策が進められた。 4. 吉野作造が民本主義を提唱し、普通選挙の実現を求める護憲運動が展開された。
-
- 問3 明治時代の労働環境について記された当時の記録において、製糸工場などで働く工女の賃金が、家事使用人（下女）などと比較して高い水準にあったことが示されています。このような賃金格差が当時の社会にもたらした影響として、最も適切なものはどれですか。 (2026年 長野県公立入試 類似)
1. 工女の賃金が高くなったことで、工場の労働環境は大幅に改善され、労働組合の結成が推奨された 2. 女性の賃金が重工業に従事する男性の賃金を上回ったため、男女の賃金格差が完全に解消された 3. 現金収入を得られる工場への労働力流出が続き、農村では農業労働者の減少が懸念されるようになった 4. 農業労働者が減少したため、政府は直ちに大規模な機械化農業を全国の農村に導入した
-
- 問4 明治時代の政治家について述べた以下の条件のうち、「岩倉使節団に参加している」「大日本帝国憲法が発布されるより前に政党を結成していない」「初代内閣総理大臣に就任している」のすべてを満たす人物の事績として適切なものを選びなさい。 (2023年 岐阜県公立入試 類似)
1. 薩摩藩出身の実力者として使節団に参加したが、帰国後は内政の充実に努め、内閣制度が整う前に暗殺された。 2. 木戸孝允の随行員として欧米を視察し、後にヨーロッパで憲法を学び、政府側で官僚機構や憲法の整備を主導した。 3. 土佐藩出身で自由民権運動を指導し、日本最初の政党である自由党を結成して国会の開設を政府に求めた。 4. 参議として政府の中枢にいたが、明治十四年の政変で政府を去り、立憲改進党を結成してイギリス風の議院内閣制を主張した。
-
- 問5 明治時代の文化において、与謝野晶子が発表した詩「君死にたまふことなかれ」の背景とその内容について説明したものとして、最も適切な記述を選んでください。 (2025年 栃木県公立入試 類似)
1. 第一次世界大戦の最中に、女性の地位向上を目指して「元始、女性は太陽であった」と宣言し、女性解放運動を推進した。 2. 日清戦争の勝利を確実にするため、国民の戦意高揚を目的として兵士を激励する愛国心を表現した。 3. 日露戦争に出征した弟を思い、家族を大切にす人間本来の感情から、戦争への悲しさと平和への願いを表現した。 4. 明治初期の文明開化のなかで、欧米の自由主義思想を取り入れ、国民の自由と権利を尊重するよう政府に訴えた。
-
- 問6 18世紀末に市民革命が起こった国であるフランスへ、1884年から1893年にかけて留学した人物は誰か。ルーブル美術館での模写などを通じて西洋画の技法を学び、帰国後は白馬会を創設した人物を答えなさい。 (2024年 東京都公立入試 類似)
1. 岡倉天心 2. 黒田清輝 3. 菱田春草 4. 横山大観
-
- 問7 1890年代から1900年ごろにかけて、日本における鉄道の営業距離は急激な伸びを見せています。この時期に起こった、軽工業を中心とする日本の経済的・社会的な大きな変革を何と呼びますか。 (2018年 福岡県公立入試 類似)
1. 文明開化 2. 産業革命 3. 殖産興業 4. 高度経済成長
-
- 問8 日露戦争の講和において、日本の全権を務めた小村寿太郎が調印したポーツマス条約に関連して、当時の社会情勢を説明した文として正しいものはどれですか。 (2020年 和歌山県公立入試 類似)
1. 第一次世界大戦後の不況に対する抗議として、全国で米騒動が起こった 2. 欧米諸国からの関税自主権の回復に成功し、国民が祝賀会を開いた 3. 下関条約の内容に反対したロシア・ドイツ・フランスが三国干渉を行った 4. 賠償金が得られないことへの不満から、日比谷焼打事件が発生した
-
- 問9 明治から大正時代にかけて、日本の医学は国際的に高い水準に達しました。この時期に活躍した野口英世の活動の背景と内容について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 群馬県公立入試 類似)
1. アメリカの製薬会社と協力し、世界で初めてとなる強力な消毒薬や麻酔薬の大量生産に成功した。 2. 日本国内の伝染病を根絶するため、政府の支援を受けて全国に避病院（隔離病院）を設置した。 3. 北里柴三郎の門下生として、日露戦争の戦地における衛生環境の改善とベスト予防を主導した。 4. 顕微鏡を用いた細菌学が発展する中、黄熱病の病原体を解明するために南米やアフリカを調査した。
-
- 問10 自由民権運動が高まりを見せる中、明治政府は1885年にそれまでの太政官制を改めて「内閣制度」を創設しました。この時、初代の内閣総理大臣に就任し、のちに大日本帝国憲法の起草にも中心的な役割を果たした人物は誰ですか。 (2022年 栃木県公立入試 類似)
1. 伊藤博文 2. 大隈重信 3. 山県有朋 4. 大久保利通
-
- 問11 ポーツマス条約が調印された直後、東京の日比谷公園での集会をきっかけに「日比谷焼打事件」と呼ばれる大規模な暴動が発生しました。国民がこれほどまでに強い不満を抱いた背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2015年 長崎県公立入試 類似)
1. ロシアから得られた賠償金の額が、当初国民が期待していた金額の半分以上以下であったため。 2. アメリカの仲介を拒否して戦争を継続すべきだと考えていた国民が、一方的な講和に反対したため。 3. 条約によって日本の領土が戦争前よりも減少してしまい、外交的な敗北だと受け取られたため。 4. 国民は重い増税や戦死者の増加に耐えて戦争を支えてきたため、賠償金が得られない内容に納得できなかった。
-
- 問12 明治時代初期、板垣退助や後藤象二郎らが政府に対し、薩摩・長州などの特定の藩出身者だけで政治が行われている現状を批判し、国民の意見を反映させるための議会を作るよう求めた文書を何といいますか。 (2018年 茨城県公立入試 類似)
1. 教育勅語 2. 五箇条の御誓文 3. 大日本帝国憲法 4. 民撰議院設立の建白書
-
- 問13 幕末に結ばれた不平等条約の内容を改正し、欧米諸国と対等な立場を築くことは明治政府の悲願でした。この改正項目のうち「領事裁判権（治外法権）の撤廃」が実現したことによって、日本が得た権利として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2022年 神奈川県公立入試 類似)
1. 輸入品にかかる関税の率を、他国の同意を得ることなく日本政府が独自に決定する権利 2. 日本国内で罪を犯した外国人を、日本の法律に基づいて日本の裁判所で裁く権利 3. 25歳以上のすべての成人男性に対し、納税額に関わらず選挙権を付与する権利 4. 外国との貿易において、特定の港だけでなく国内のあらゆる場所での通商を許可する権利

答え合わせ・解説

問1	答え 3 八幡製鉄所	日清戦争で得た賠償金の一部を使い、清から輸入した鉄鉱石と筑豊炭田の石炭を利用しやすい北九州の地に建設されました。この工場の操業により、日本は鉄鋼の自給を本格化させ、産業の主軸が軽工業から重化学工業へと移り変わる基盤が築かれました。
問2	答え 3 渋沢栄一らが経済界をリードし、官営模範工場の設立などの殖産興業政策が進められた。	内閣制度が創設された1880年代は、明治政府が「富国強兵」を目指して近代産業の育成に力を注いでいた時期です。渋沢栄一などの民間実業家も協力し、紡績業や鉄道建設といった殖産興業が活発化していました。他の選択肢は、大正時代から昭和時代にかけての出来事であるため不適切です。
問3	答え 3 現金収入を得られる工場への労働力流出が続 き、農村では農業労働者の減少が懸念される ようになった	明治時代の工女は、過酷な労働環境ではあったものの、当時の農村における他の職種と比較すると高い賃金を得られる側面がありました。その結果、より良い賃金を求めて女性たちが工場へ向かったため、農村部では貴重な労働力が失われ、農業の維持に支障が出ることを危惧する声が上がるなどの影響が見られました。
問4	答え 2 木戸孝允の随行員として欧米を視察し、後に ヨーロッパで憲法を学び、政府側で官僚機構 や憲法の整備を主導した。	伊藤博文は、板垣退助（自由党）や大隈重信（立憲改進黨）などの野党勢力が政党を結成して民権運動を進めたのに対し、一貫して政府側の立場から近代的な国家機構の構築にあたりまし た。特に、君主権の強いドイツ流の憲法を学ぶことで、天皇を中心とした統治体制を整え、内閣総理大臣としてその運用を担いました。他の選択肢はそれぞれ板垣退助、大隈重信、大久保利通の事績を指しており、提示された3つの条件をすべて満たすことはできません。
問5	答え 3 日露戦争に出征した弟を思い、家族を大切に する人間本来の感情から、戦争への悲しみと 平和への願いを表現した。	この詩が発表されたのは1904年、日露戦争の激戦地である旅順に弟が送られた際のことです 。当時は「天皇のため、国のために死ぬ」ことが美徳とされた時代でしたが、晶子は肉親を想う一人の人間としての切実な願いを歌い上げました。この表現は当時の言論界で激しい論争を巻き起こしましたが、文芸雑誌『明星』などを通じて、個人の尊厳や人間性を重視する近代思想の発展に大きな役割を果たしました。
問6	答え 2 黒田清輝	黒田清輝は、18世紀末にフランス革命が起こったフランスへ留学し、現地の美術学校やルーブル美術館で油彩画の技法を習得しました。帰国後、彼はそれまでの日本の洋画にはなかった明るい色彩（外光派）を導入し、白馬会を結成して日本の近代洋画の基礎を築きました。横山大観や岡倉天心は日本画の復興に関わった人物です。
問7	答え 2 産業革命	日本では、1890年前後から紡績業（綿糸）や製糸業（生糸）などの軽工業を中心に機械による生産が普及し、産業革命が達成されました。この時期には鉄道網の整備も急速に進み、全国的な市場が形成されるとともに、人や物資の輸送が活発になりました。
問8	答え 4 賠償金が得られないことへの不満から、日比 谷焼打ち事件が発生した	日露戦争後、国民は日清戦争時とは比較にならないほどの重税や、約8万5000人におよぶ死傷者という犠牲を強いられていました。しかし、1905年のポーツマス条約においてロシアからの賠償金獲得に失敗したことで、苦しい生活を強いられていた国民の怒りが政府に向けられ、日比谷焼打ち事件という大規模な騒擾（そうじょう）事件が引き起こされました。
問9	答え 4 顕微鏡を用いた細菌学が発展する中、黄熱病 の病原体を解明するために南米やアフリカを 調査した。	19世紀末から20世紀初頭にかけては、コッホやパスツールらによって近代細菌学が確立され、病原体を特定する研究が世界中で盛んに行われていました。野口英世はこの流れの中で、当時まだ原因が不明確だった黄熱病などの研究に取り組みしました。彼は自ら危険な地域である中南米やアフリカの現地に赴き、現地の医療発展にも貢献しましたが、最終的にはアフリカのガーナで自らも黄熱病に感染して亡くなりました。
問10	答え 1 伊藤博文	伊藤博文は、憲法制定の準備のためにヨーロッパへ渡り、ドイツ（プロイセン）の憲法などを調査しました。帰国後の1885年、行政の責任を明確にするために内閣制度を創設し、自ら初代内閣総理大臣となりました。これは、1889年の大日本帝国憲法発布に向けた国家体制整備の重要なステップでした。
問11	答え 4 国民は重い増税や戦死者の増加に耐えて戦争 を支えてきたため、賠償金が得られない内容 に納得できなかった。	日露戦争中、政府は多額の戦費をまかなうために国民に重い増税を課し、多くの戦死者も出していました。国民は日清戦争の時のように多額の賠償金が得られると期待して苦難に耐えてきましたが、ポーツマス条約の結果、賠償金が全く得られないことが判明したため、政府への不満が一気に爆発し、暴動へと発展しました。
問12	答え 4 民撰議院設立の建白書	征韓論に敗れて政府を去った板垣退助らが1874年に提出した文書です。一部の官僚が権力を独占する「有司専制」を批判し、国会の開設を強く求めたことで、自由民権運動の先駆けとなりました。
問13	答え 2 日本国内で罪を犯した外国人を、日本の法律 に基づいて日本の裁判所で裁く権利	不平等条約における領事裁判権とは、日本で犯罪を犯した外国人をその国の領事が裁判する特権であり、日本の司法権が及ばない状態を指していました。この権利を撤廃することは、日本の司法権を確立し、主権を回復させるための重要な近代化のプロセスでした。選択肢にある関税率を独自に決める権利は「関税自主権」であり、領事裁判権とは別の不平等項目です。